

子育てしながらキャリア形成 利用者と家族に安心を届けます



訪問看護では医師・看護師・理学療法士といった医療従事者たちが連携し、患者の生活の場でオーダーメイドの看護がなされる。訪問先では看護師が脈拍や血圧を確認し、体のケアやリハビリを行う

02

訪問看護

看

看護師には、病院内で働く人だけでなく、患者の自宅を訪問する「訪問看護師」もいる。高齢社会を迎え在宅医療の必要性が高まるなか、今後活躍が期待される仕事で、浜松は訪問看護の先進的な地域でもある。

青木さんもそんな訪問看護師の一人。高校3年生の時、人に感謝してもらえなかった。卒業後は総合病院の呼吸器内科に勤務。結婚して、出産・育児で退職した後、仕事に復帰するときは夜勤のない訪問看護の仕事を選んだ。「大学時代に今の職場に実習で来たことがあり、訪問看護にはその頃から興味がありました。病棟では複数の患者さんを同時に見ますが、訪問看護は1対1でじっくり看護ができるから自分に合っているなと思って」と青木さん。

普段は週4日の勤務。子どもたちを保育園に送ってから朝9時に出勤し、浜北区、東区、磐田市内を1日に4件訪問。午後4時まで働く。訪問先では、まず患者の体温、呼吸、脈拍、血圧などをチェックして、病状に変化はないか確認する。患者は高齢者だけでなく、乳幼児や10代から20代などさまざまだ。「たとえ言葉が話せない患者さんでも、毎回声掛けをしていると心が通じて『ありがとう』と言ってくれているのが分かることがあるんです。ご家族が患者さんを親身に介護している様子を見ると、新たに学ぶことも多いです」一方、患者の家族にとっても訪問看護師の存在は大きい。「看護師さんが来てくれて心配事を相談できるから、心が楽になりました」と患者の息子さん。笑顔で話してくれた。

患者の自宅を訪問し
在宅での療養生活を支援する

訪問看護師
青木綾香さん [31]
あおき あやか



出身高校 聖隷クリストファー高校
勤務先 聖隷福祉事業団
訪問看護ステーション貴布祿〈浜北区高園〉

1986年生まれ。高校を卒業後、聖隷クリストファー大学に進学。卒業後、聖隷三方原病院に就職。呼吸器内科に配属され6年間勤務。出産を機に退職後、2017年から訪問看護師としてパート勤務を開始。

仕事の面白み 患者さんだけでなく、ご家族とも深く関わる仕事なので、人とのつながりの大切さや人間関係の築き方など、勉強になることがたくさんあります **休日**は？ 子どもと一緒に過ごします **収入** 日給だったら4人家族で回転寿司2回分くらい **今後の目標** リハビリ方法を学んで患者さんやご家族に喜ばれる看護をしたいです **高校時代にイメージしていた将来の自分** 将来のイメージは特になかったけれど、小学生の頃は獣医さんになりたかった **大人になってから思うこと** 高校時代は吹奏楽部で、勉強よりも部活という感じでした。大人になってからは仕事や子育てに追われて時間がなかなか取れないから、高校生のうちにもっといろいろな経験したかったな